

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

第 54 号
広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会



卒業生諸君へ



学長 明石 三郎

水ぬるむ三月は、毎年卒業生を送るシーズンである。二月二十五日(火)が学士証書与式、二十六日(水)が学位記授与式である。

昭和四十九年度卒業生の数は、法医学第一部七五二名、第二部七八名、文学部第一部四九七名、第二部一〇一名、経済学第一部五九名、第二部一〇六名、商学

第一部五四九名、第二部九七名、社会学部第一部五二名、第二部五三名、工学部一二八名である。

また大学院においては、修士の学位を授与される者は法学一八一名、文学二九名、経済学四名、

商学九名、社会学一七名、工学七五名の計一五三名であり、博士課程の単位取得者は法学二

名、文学二九名、経済学四名、法学九名は、校友関係券の制度や蔵書の複写設備等がある。たとえば図書館は、校友関係券の制度

を大いに利用してほしい。たとえば

また、再度、勉学の必要を希望

が生じたときは、聽講生や学生大

度卒業式

卒立つ四、五四一名

大学院学位記授与式も

きびしい試験に 不屈の精神で……

卒業生諸君は世に送るに当たりこのからお慶び申し上げます。諸君は少す大半の卒業院選学者を除けば、本日をもって過去十有六年にわたる長い学園生活に終止符を打つだけであります。今まで両親はじめ社会の温情と学園の自由かつ離れてきびしい社会の現実の中に身を挺する」となります。

一方では夢多き将来への希望で胸ふくらむ思いであると同時に他人ではまひい社会生活への不安にかられていることがと思います。

現実の社会が學齢で考へていたような生やさしいものでないことは確かであります。特に昨今、経済界はインフレ、不況、公害等によつてきびしい試験に立たざれどもそれがこれまで受けた学校教育によっておりますが、これだけをうつてみても諸君の前途が必ずしも平坦なものでないことは明白であります。

養われた読書力と思考力、あるいは社会の適応によってこそそれを克服できる自信を持つべきです。これが社会に出てこれを大いに發揮されるまでにいたります。大いなる希望をもつて祈つてやみません。

ズレーリーは「如何なる教育も逆境合が多いのであります。大學で神を体得されだい」とお思いますが、それはあれど諸君は若いのであります。運命を越えたわれわれは異なり、将来は未知数に縛られております。大いなる希望をもつて祈つてやみません。

何はどうあれ諸君は若いのであります。運命を越えたわれわれは異なり、将来は未知数に縛られております。大いなる希望をもつて祈つてやみません。

「ないといえましょう。千数百年前すでに僧鑑證は「千里を照りて一閑を守る」人たるべしと教えています。高い視野に立つて物事を考へなければなりません。高い視野に立ち、高い理想をもつとて心に謙虚に自己の職分を自覺してこれを守る人となるよう心掛けておられるのです。卒業生諸君の御健闘を祈つてやみません。

終わりに卒業生諸君の中に五百名のほる第54回卒業生がいます。諸君は最高と勉学とを両立させ、忍耐強く自らの汗と脛によつて卒業の栄冠をかちあらいたい。そのうちに私は早速お見受けられるのは遺憾であります。成功した弁護士は、かけ出されなかつてはなりません。現代の青年諸君の中には高められた人生に対する熱意と心の問題があつたと聞かれています。若い諸君は必ず成功をお見受けできると思われます。若いうまでもあります。在校中に体得さ

(T-S)

る。人生において必ずや美しい実をとることあります。このことは現に世に名を成した多くの諸先輩がおられる事によって実証されてゐるのであります。諸君も自信をもつて着実に目標に向かって邁進されるよと祈つてやみません。

昭和五十一年三月二十五日

▼日本人は外国语に弱いといわれる。つまりする諸君のために、各学部各学科が組織する各種の学会・研究会(司法試験受験研究会・公認会計士試験受験研究会・会議会・行政試験受験研究会等……)がある。

また、度々、勉学の必要を希望

が生じたときは、聽講生や学生大

学、あるいは大学院入学の手続きをとることであります。

卒業後も勉学の場として、母校を大いに利用してほしい。たとえば

図書館は、校友関係券の制度

や蔵書の複写設備等がある。

また、再度、勉学の必要を希望

が生じたときは、聽講生や学生大

学、あるいは大学院入学の手続きをとることであります。

